



事務局：市民環境部スポーツ青少年課  
青少年担当 ☎464-1111(内2673)

発行／和光市青少年育成推進委員会  
広報担当

# あひる

## 研修会・情報交換会を行いました

### 1 朝霞警察署との 情報交換会

9月10日(水)

朝霞警察署生活安全課少年係の久保田係長と情報交換を行いました。

内容は、「青少年の現状について」です。

特に印象的だったのは、初発非行を含めた少年犯罪についてのお話でした。警察が、子どもたちの深夜の徘徊・家出・非行・喫煙・飲酒の取り締まりを行うことは、実際に犯罪を起こしてしまう前に抑制するという目的とともに、まず悪いことに出会わないですむように保護する、という意味があるとのことでした。親の観点ではなかなか思い浮かばない発想だと思いました。

取り締まりを行っている中でも、特に家出に関しては、援助交際という名の売春行為など、非行に直接結びついており、また、薬物の使用に関しては、周りの人間も巻き込んでいくものなので、厳しく取り締まっていきたいというお話でした。

少年犯罪の最大の特徴として、少年たちは刑務所には行かず、必ず地域・学校に戻る存在であるということ。子どもたちが、再び犯罪を起こしたり、巻き込まれたりしないためには、学校・家庭・PTAなどの連携する力が不可欠であり、家庭のバックアップが大切です、とお話を伺い、やはり家庭は基本であるのだと改めて感じました。

情報交換会の最後に、警察署からのお話がありました。「不審者情報など、変だと思ったらまず通報してほしい」「パトカーが巡回に来るだけで犯罪の抑止になるのでためらわずに連絡してください」とのことでした。事件になる前に防げるのが一番良いのだということ。地域としてこれらのことを考えたとき、すべての大人が子どもたちを見つめていくこと、また、声を掛け合って犯罪の起こる可能性を低くしていく努力が大切であり、健全な社会生活を過ごすための力になるのだということがよく分かりました。

### 2 研修会「保健室に来る子どもの状況等について」

11月21日(水)

学校との情報交換会として、第二中学校養護教諭の渋谷先生から「保健室に来る子どもの状況等」についてお話を伺いました。

保健室の利用理由として、ケガや頭痛、腹痛といった体調不良が多いと聞くと、当然の

ように思われますが、一つ一つ詳しくお話を伺ううちに、生活習慣や悩みにまで関係していることがよく分かりました。

多感な中学生ということもあり、悩みも複雑で、受験や人間関係など多岐にわたるそうです。保健室という場で悩みを打ち明けてくれる子もいるそうですが、自分(養護教諭)一人の力で解決できるものではないと先生は話されていました。

そのため、定期的にクラス担任と連携をとりながら情報提供をしているそうです。その場合には、相談してきた子どもにも、担任の先生にも伝えることをお話しするそうで、子どもとの信頼関係を大切にされているという印象を持ちました。

頭痛や腹痛を訴える子の中には、悩みを抱えているという場合もありますが、朝食を食べていなかったり、深夜遅くまで起きていたりする子もいるようです。生活習慣は幼いときからのことも多いので、家庭でも気をつけていく必要があるのだと思いました。継続的な体調不良を訴える子は、共通して、頑張り屋さんが多いようだというお話もありました。

子どもたちは、普段反発しているような子でも、一人ひとりで話を聞くとみんな素直だそうです。子どもたちの保健室利用のお話から、心身ともに健康に子どもたちが育つためには、学校・家庭・地域の連携は不可欠なのだ改めて思いました。

### 3 青少年育成推進 委員会の活動を通して

今年度、初めて青少年育成推進員になった方に、活動を通して感じたことやご意見を伺いました。

①青少年育成推進員になって初めて知ることが本場に多く、自分の勉強になっています。

推進員会で行われる研修会では、多分野の方のお話を聞く機会も多くあり、それは一般の家庭にいてはなかなか叶わないことなので、興味深く、どの会ときも参加しています。

また、「子どもを守る店」の存在も、その維持のために推進員会という組織が存在して、多くの人が関わり尽力しているの、自分でも参加してみようと思いました。

実際に「子どもを守る店」をまわってみて感じたことは、子どもたちは、思う以上に多くの大人に見守られて成長しているのだということ、協力していただいているお店の方々も様々であるということです。

お店には毎年伺っているのに、推進員の訪問に対して、お店の方から「意外だ」という反応を受けると、この活動がまだ十分に広まっていないところもあるのだと思いました。「子どもを守る店」の活動について、ご理解ご協力いただくためには、この訪問活動を継続して行うことが大切なのだと感じました。

②今まで、青少年育成推進員という名前は聞いたことはありましたが、どんな活動をしているのかはよく知りませんでした。自分が参加させていただいて、活動の内容や地域のことなどを知ることができて、本当に良かったと思います。自分の住んでいる近くのお店のことも、知っている様で知らないことが

実はたくさんあるのだと思います。年に数回行われる情報交換会で、いろいろな講義を聞かせていただく機会もあり、その中で共通して話されているのが「家庭・学校・地域が協力し、子どもたちを見守っていく」ということでした。推進員の活動を通じて、これは本当に大事なことで感じました。この活動には、より多くの方々に参加していただきたいと思います。



広報の編集打合せ

#### ■青少年育成推進委員会の年間活動報告

平成20年

- 4月 ▶ 地域代表者会議(20年度計画・役員の検討)
- 5月 ▶ 委嘱式 第1回定例会(20年度活動について)
- 6月 ▶ 第2回定例会(「青少年を守る店」訪問についての説明)  
▶ 6月～7月「まもる店」協力店を訪問
- 7月 ▶ 第3回定例会(「青少年をまもる店」訪問の調査カードの回収)  
▶ 和光市地域子ども防犯ネットとの情報交換会  
▶ あひる56号の編集について
- 8月 ▶ 夏季スポーツ大会キックベース会場のお手伝い
- 9月 ▶ あひる56号の発行  
▶ 第4回定例会(夏休みの報告)
- 10月 ▶ 「青少年を守る店」報告書作成 報告書を協力店に届ける  
▶ 第5回定例会(事務連絡)  
▶ 朝霞警察署との情報交換会
- 11月 ▶ 第6回定例会(事務連絡)  
▶ 研修会「保健室に来る子の状況等について」  
▶ あひる57号(原稿作成を分担)
- 12月 ▶ 第7回定例会(推進員相互の情報交換)

平成21年

- 1月 ▶ 第8回定例会(事務連絡) ▶ 研修会「図書館の活動から」  
▶ あひる57号発行 ▶ 風上げ大会お手伝い(前日は豚汁作り)  
▶ 青少年育成和光市民会議「君のライブ」お手伝い
- 2月 ▶ 第9回定例会(事務連絡)  
▶ 図書マップについて
- 3月 ▶ 第10回定例会(20年度活動を終えて)  
▶ 図書マップについて